



アカペラ好きが高じてサークルを立上げ!

～「声」がつなぐ人との触れ合い～

昨年2月、カラオケ好きなクラスの仲間男子3名、女子4名で立ち上げたアカペラサークル。テレビ番組で、学生がアカペラを披露している姿に感動し、その活動がスタート。「アカペラは声が楽器。だからこそ人の心に伝わりやすい。」と須郷さん。その思いのもと、4月には新入生や後輩にも声かけし、現在、20名3グループのメンバーがいます。活動は、初年度にもかかわらず学内外で精力的に行っています。夏には「ケア付青森ねぶた」実施にあたり、書道サークルとコラボ。また、市内で開催された「トライトーン」という音楽イベントにも出演。秋には念願の大学祭にも参加。10月末には東日本大震災で被災した岩手県野田村に足を運び、歌を披露することで、仮設住宅に住むみなさんに元気を届けました。「好きなアカペラを通して、さまざまな人と触れ合うことができ、立ち上げてよかった。」と言う須郷さん。「これからも活動を広げ、多くの人に喜んでもらいたい。」と語ってくれました。



アカペラサークル 代表
理学療法学科 3年

須郷聡介(すごうそうすけ)さん



自治会活動

自治会長:山脇和人

2011年春に、弘前大学の学生生協を見学してきました。文房具・弁当/各種資格取得支援/学生総合共済/ランチ(バイキング有)/アパート・下宿紹介/アルバイトの紹介等、学生が主体となって盛り上げ、生き活きているように見えました。青森県立保健大学の学生にもそのような環境を配慮し、全学生が「この大学に入って良かった」と言えるような大学に変えることが、私の夢でもあり目標でもあります。皆様のお力添えなしでは達成されません。どうぞ私たち自治会を、よろしく願いいたします。



ボイスボックスへの投書に対する回答について



調理実習室での実習の際に、ガスコンロをフル稼働し、場合によってはグリルやオーブン等も同時に使用するため、室温とても上がります。夏季は毎年その暑さに実習中、気分が悪くなる人が出ています。調理実習室の環境改善のため、換気扇を設置してくださると大変助かります。また、最近、床の排水溝の隙間から虫が湧くようになりました。衛生上好ましくありませんので何か対策をしていただけないでしょうか。

調理実習室の換気扇については、10月5日から10月31日にかけて、改修工事を行い、新たな換気扇を各実習台の上に設置したほか、部屋の温度調節も実習室でできるように空調設備も設置しました。害虫についても、専門業者へ依頼し、排水溝の中の清掃と害虫駆除を行いました。今後も2か月に1回程度の割合で、業者から排水溝を見てもらうようお願いしています。